



〈雜錄〉濠洲職工組合史 : Robert Schachner, Die soziale Frage in Australien und Neuseeland, 1911 ノ一節抄譯(4)

板垣, 茂末

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 14(4):680*-688

(Issue Date)

1913-04

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052016>



濠洲職工組合史 (其四)

[Robert Schachner, Die soziale Frage in Australien und Neuseeland, 1911, 一節抄譯]

板垣茂末

三、政治的職工組合運動

(千八百九十一年ヨリ今日ニ至ル)

自助ノ船ハ難破シテ仕舞ツタ。今ヤ勞働者ハ企業家トノ戰ニ於テ議會政策ヲ武器トシ、社會的立法ヲ楯トスルノ外無イノデアル。

此議會政策ト社會的立法トガ最モ早く又最モヨク實現サレタノハ新西蘭デアル。海運業ノ大同盟罷業ニ際シ同州ノ保守黨ガ自由黨ノ烈シイ突撃ヲ受ケタ後ニ兩黨ノ妥協ガ成立シタ。自由黨領袖セドンハ議會ニ於テ自ラ職工組合ノ友ナルコトヲ告白シ、國家ハ國家全體竝ニ國民各階級ノ安寧幸福ヲ害スル所ノアラユル勞働爭議ヲ調停スベキモノデアルト云ツタ。大同盟罷業ガ勞働者側ノ大敗北ニ終ツタ間モナク總選舉期ガ

處置ニ出デ、在外資金ヲ全然廢止シテ我經濟財政ヲシテ健全ナル自然的基礎ノ上ニ在ラシメンコトヲ、國家百年ノ大計ヨリシテ切望シテ止マザルナリ。若シ夫レ吾人門外漢ニ窺知シ得ベカラザル多少ノ事情其間ニ伏在スルトセバ、少クトモ今後在外資金ヲ補充スル政策丈ケハ全然廢止シテ以テ、開ガ自然的廢止策ヲ講ズルカ、夫レモ不可能ナリトセバ政府在外資金ヲ全部日本銀行ノ手ニ移シ、一方ニ於テハ政府在內資金ヲ增加シテ從來ノ如キ在外資金引當テノ大藏省證券鐵道證券ノ發行策ヲ廢止シ、他方ニ於テハ日本銀行ヲシテ政府財政ノ壓迫ヨリ多少免カレシメテ、通貨調節策ニ幾分ノ便宜ヲ與ヘシムルカ二者其一ヲ採用センコトヲ希望シテ止マザルナリ。(完)

到來シタノデ、職工組合ハ急イデ選舉人名簿ニ其名前ヲ登録シタ。然ルニ保守黨ハ依然其宣言書中ニ「勞働爭議ニ關シテハ政府モ議會モ何等干涉スベカラズ」トノ一項ヲ固守シテ居タノデアルカラ、同黨ノ失敗ハ始ヨリ明カデアツタノデアアル。實ニ之ヨリ少シク以前烈シク爭ツテ得ラレタル一人一票主義 (one-man-one vote) ハ自由黨ニ取ツテ有利ナル武器デアツタ。且ツ同黨ノ領袖バルランス竝ニセドンノ勞働者問題ニ對スル態度ニハ何等疑ヲ挾ム餘地ヲ存シ無カツタノデアアル。斯テ此議會ニ六名ノ勞働者議員ガ選出セラレタガ、其要求ハスベテ自由黨領袖ノ認ムル所トナツタ。ソレ故最早新西蘭ニ於テハ勞働黨ヲ創設スルノ必要ヲ見ナクナツタノデアアル。

之ニ反シテ、大陸ニ於テハ大同盟罷業ニ際シ有力ナル政黨ハ全然企業者側ニ立ツタノデアアルカラ、職工組合ハ直チニ獨立ノ勞働黨ノ設立ニ

取掛ラナケレバナラナカツタノデアアル。斯テ總テノ州ニ新政黨ガ出來タガ、ソレハ今日迄職業及勞働會議ヲ後立トシ、職工組合ヲ基礎トシテ存續シテ居ル。職工組合ノ領袖連例ヘバ坑夫同盟ノ創立者スベンス、千八百八十六年以來濠洲勞働者團體ノ總裁タリシワトソン、ニユー、サウス、ウエールスノホルマン及クツク、グイクトリアノツレンウイズ及ブレンダーガスト、クイーンスランドノヒンチクリツフ、ウエスト、アウストラリアノホルマン、サウス、アウストラリアノブライス等ハ各々其州ノ勞働黨ノ首領トナツタノデアアル。

以上ノ政治的勢力ニヨツテ職工組合ハ新西蘭ニユー、サウス、ウエールス、ウエスト、アウストラリア竝ニ聯邦ニ於ケル強制的仲裁裁判制度ヲ維持シ得タノデアアル。併シ此制度ヲ規定スル法律ハ其後サウス、アウストラリアニ於テハ上院ノ反對ヲ受ケテ何等實際の效力ノ無キモノ

ト化シ、又ニユー、サウス、ウエールスニ於テモ政權ノ推移ニヨツテ廢止ヲ見ルニ至ツタ。

斯テ勞働者ニ取ツテハ政治上ノ勢力ヲ確立スルコト、竝ニ立法的手段ニヨツテ其境遇ノ向上ヲ計ルコトガ最モ重要ナル問題トナツテ來タノデアル。

職業及勞働會議ハ職工組合ト勞働黨トノ連絡ヲ維持シタノデアルガ、人々ハ政爭ニ熱中シテ職工組合本來ノ問題ヲ顧ミナカツタ爲メニ、數年間職工組合大會ノ開催ヲ見ナカツタ。新西蘭デハ漸ク今ヨリ十年前(千九百一年)カラ再ビ職業及勞働會議ガ所屬ノ職工組合ノ大會ヲ年々召集シ始メ、ウエスト、アウストラリアデハ千八百二年以來職工組合及勞働者大會ヲ催シ、又ニユー、サウス、ウエールスデハ千九百八年以來職工組合總會ヲ開イタノデアル。

是等ノ大會ハソレニ代表者ヲ出シテ居ル多數ノ職工組合ガ如何ニ甚ダシク政治的團體ニ化シ

タカラ示シテ居ル。職工組合ハ政治的改革運動ニ心ヲ專ラニシテ、其經濟的使命ヲ等閑ニ附シタノデアル。職工組合大會ノ性質ヲ尙ホ最モ多ク持續シタノハニユー、サウス、ウエールスノ大會デアツテ、其最モ少ナイノハウエスト、アウストラリアノソレデアツタ。

千九百九年シドニーニ催サレタ職工組合ニハ四十三箇ノ組合カラ六十人ノ代表者ガ出席シタ。此會議ニ於テ最モ多ク議論サレタノハ、ブロークンヒル鑛山ニ於ケル大同盟罷業ニ對スル政府ノ處置デアツタ。坑夫ボーリングハ政府ニ對スル示威運動トシテ總同盟罷業ヲ行フベシト主張シタガ、ダンカンハ之ニ反對シテ冷靜ニ次ノ如ク云ツタ。曰ク「勞働黨ノ手ニ政權ヲ收メル爲メニスラ勞働者ガ協力一致スルコトヲ得ナイノニ、有效ナル總同盟罷業ヲ實行シ得ル望ガアルダラウカ、自分ハ大ニ怪ム。一體總同盟罷業ナルモノハ多數ノ勞働者ヲ弱ラシ、政府ヲシテ

不公平ノ行動ヲ執ルニ一層便ナラシムルモノデアル」ト。坑夫ウイリアムスモ「總同盟罷業ヲ行フハ愚デアル。總同盟罷業ヲナスノ準備ハ一モ具ハツテ居ラス。吾等ハ其必然ノ失敗ニ際會シテ飢渴ニ苦ムニ至ルデアラウ。サレバ其結果ハ單ニ職工組合ノ威力ヲ失墜スルニ過ギナイ」ト云ツタ。

此ノ如ク職工組合ノ執ルベキ手段如何ニ就テ大ニ議論沸騰シ、硬派ハ同盟罷業及自助ヲ主張シテ止マズ、軟派竝ニ此大會ヲ主催シタシドニ「労働會議ハ労働契約ニ對スル政府ノ規制ト政爭トヲ主張シテ下ラナカツタ。採決ノ結果總同盟罷業說ハ四十六ニ對スル十七ヲ以テ破レタノデアル。

純粹ナル労働者問題トシテハ Daylight Saving Bill ノ建議案ガ主ナルモノデアツタ。此法案ハ冬季ノ労働時間ヲ夏季ト同様日出ヲ以テ始マラシメ、夏季ニ於テハ午後ノ休息時間ヲ延長セン

トスルモノデアツテ、過長労働ノ危險ヲ避ケルタメニ決議サレタノデアル。

船積業竝ニ其他ノ實行シ得ラルベキ職業ニ於テ、休日労働ヲ制限スルコトハ滿場一致ノ希望デアツタ。又「パン」焼業カラ出タ夜業禁止ノ提議ハアラユル職業ニ於テ實行スベキデアルト主張セラレ、且ツ機械ノ運轉ヲ制限シテ一週ノ最長労働時間ヲ四十四時間ニ限定スベシトイフコトモ決議サレタノデアル。

石炭坑竝ニ石油坑ニ於テ地中労働ニ從事スル者ノ労働時間ヲ七時間トシ、一般鑛山ニ於ケル地中労働者ノ労働時間ヲ六時間トスベシトイフ千九百八年ノ大會ニ於ケル決議ハ此會ニ於テ再ビ繰返サレタ。又蒸溜場、瓦斯工場竝ニ之ニ類似ノ工場ノ労働者モ酷シイ熱氣ノ中デ働クノデアルカラ同様六時間労働タルベシトノ主張モアツタヤウデアル。

總テノ労働者ヲシテ賃銀其他ニ關スル職工組

合ノ規定ヲ守ラシメ、又政府若シクハ自治體ノ勞働契約ニ於テ之ヲ認メシムルコト、竝ニ着手セラレタル仕事ノ解約ヲ禁ズルコトニハ何人モ異議ヲ唱エナカツタ。養老年金ガ六十五歳ニ達シナケレバ支給セラレヌノニ、公ノ仕事ニ從事スル勞働者ニ對スル年齡ノ制限ガニュー、サウスウエールスノ鐵道ノ如キデハ四十歳以上ノ者ハ新ニ雇入レズ、又六十歳ニ達スレバスベテ解雇スルト定メラレテ居ルノハ大ニ不合理デア

ル、加之私企業家ニ非民主的ナ惡シイ模範ヲ示スモノデアルト大ニ攻撃サレタ。又政府ガ鑛山ニ於ケル勞働者保護法規ノ實施ヲ等閑ニ附シテ居ルコト、竝ニ鑛山監督上不都合ナル干涉ヲナセルコトニ對シ大ニ非難ガアツタ。其結果政府ニ對シ鑛山監督ニ就テ報告書ヲ公ニスベキコトガ要求サレタ。其他尙ホ鑛業ニ關シテハ機關手ノ能力檢定ヲ爲スコト、機關手ヲシテ最後ノ坑夫ガ鑛坑ヲ出ル迄坑内ニ止マラシムルコト、竝

ニ賃銀ヲ保障スルコト等ガ希望セラレタ。而シテ又坑夫タルノ資格證明書ヲ受クルニハ其準備トシテ二箇年ノ經驗ヲ積マテバナラスト定ムルコトモ、特ニ同盟罷業ニ際シ鑛山主ガ臨時ニ不熟練勞働者ヲ雇入レルノヲ防止スルヲ目的トシテ主張セラレタノデアアル。

更ニ此大會ニ於テ政府ハ濠洲ノ經濟狀態ヲ誤報シテ他國人ノ來住ヲ獎勵シテ居ルトイフ抗議ヲ受ケタ。就中救世軍ノ移殖ヲ助ケヤウトノ政府ノ企圖ハ烈シク攻撃サレタノデアアル。ソレハ賃銀ノ低落ト「スウエツチング」ヲ齎スモノデアルトノ理由ニ基ク。

又ニュー、サウス、ウエールスニ於テ仲裁裁判法ノ代リニ行ハレタ產業爭議法 (Industrial Disputes Act) ノ施行ガ不公平デアルトノ非難モ大ニ起ツテ、此法律ノ補則トシテ次ノ規定ヲ設クベシト要求サレタ。即チ或職工組合ノ得テ仲裁裁判判決ニヨツテ組合外ノ者ガ利益ヲ受ケタ場

合ニハ、彼等モ亦其組合ノ基金ニ釀出スベキモノトスルノデアル。斯テ職工組合強制加入ノ要求ニ餘程近付イテ來タ次第デアル。海運業ニ關シテハ又聯邦ノ法律ヲ以テ黑人竝ニ黃色人ノ從業ヲ禁ズベシトノ要求ガ出タ。更ニ進ンデ負傷海員ノ救済ニ關シテ英國ノ賠償法 (Compensation Act) ニ倣ツテ一法律ヲ制定スベキコトモ望マレタ。尙又濠洲ノ法律ヲバ領海内ニ於ケル總テノ船舶ニ適用スベキコトモ要求セラレタ。而シテ最良ノ海運政策ハ聯邦政府ノ手ニ海運業ヲ獨占スルニアルトノ主張モアツタノデアル。

機關手ノ資格檢定及蒸汽機關ノ定期檢査、竝ニ徒弟契約書ニヨツテ徒弟ノ仕事ヲ規定スルコト及職人ノ數ト徒弟ノ數トノ比例ヲ法定スルコト等ノ古イ要求ガ再ビ繰返サレ、又徒弟ノ最低年齡ヲ十六歲ト定ムベキコトモ主張サレタノデアル。

アラユル産業の立法ヲ聯邦議會ニ一任スルコトハ、全土ヲ通ジテ法規ノ統一ヲ計ルト、産業

の立法ニ對スル各州上院ノ反對ヲ避ケル爲メニ必要デアルトセラレタ。

勞働者住居ノ改善ヲ計ル爲メニ、單ニ五年毎ノ根本的修繕ノミナラズ各戸ニ浴場ト洗濯釜トヲ設置シ、且ツ住居監督ヲ實行スベキコトガ希望セラレタ。

消費組合設立ノ要求ニ對シテハ、之ヲ以テ職工組合ガ資本家ノ歩ム道ニ迷入ルモノデアルトノ反對論ガ出タ。而テ國家又ハ地方自治體ヲシテ生活必需品ノ低廉ナル供給ヲナサシムベシト要求セラレタノデアル。急進的ナル坑夫ボーリングハ企業家ノ口吻ヲ真似テ「御前達ハ消費組合ノ御蔭デ生計費ヲ二割方節約スルコトガ出來ルノダカラ、ソレダケ安イ賃銀デモ満足シ得ル譯ダ」ト云ツタ。クルスハ之ニ反對シテ創立後日尙ホ淺キブロークンヒルノ共同企業ノ得タル利益ガ千三百磅ニ上ルコトヲ指摘シ、ミラーハ生産者ヨリ直接購買シ得ルノニ中間商人ニ高

イ價ヲ支拂フハ愚デアルト云ヒ、レディーハ共同組合ヲ以テ職工組合ノ雙子兄弟デアルト呼ンダ。而シテ大會ニ於テ是等ノ共同企業賛成說ハ是認セラレタノデアルガ、同時ニ國家竝ニ地方自治體ヲシテ生活必需品ノ供給ヲ營マシムベシトノ決議モ通過ヲ見タノデアル。且ツ又聯邦政府ヲシテ輸出貿易ノ制限ヲ行ハシメテ、物價ノ騰貴ヲ防止スベキコトモ要求セラレタ。スベテ是等ノ要求ハ國家ヲシテ物價ヲ決定セシメルトイフコトニ關連シテ居ルノデアル。勞働保險ヲ職工組合ノ手デ行フトイフ考ハ、政府ガ強制保險ニヨツテ疾病、災厄、老衰ニ對スル救助ヲナスベキモノデアルトノ思想ニ破ラレタ。勞働者階級ノ機關新聞ヲ創設シヤウトイフ職工組合竝ニ勞働黨ノ古イ願望ガ再ビ出デタ。

強制的徴兵制度實施案ニ對シテハ大會ハ賛成ノ意ヲ表シナカツタガ、聯邦首相フイシャーノ提出シタ國防計畫ニハ反對セナカツタ。寔ニオ

メラノ云ツタ如ク社會主義者トテモ祖國ヲ守ラナケレバナラヌノデアル。

職工組合解散ノ問題ニ就テハ大ニ議論ノ沸騰ヲ見タ、大會ハ勞働者團體創設ニ對スル十分ノ準備ヲナシ、之ニ關スル特別委員ノ假報告書モ出デタノデアルガ、何等決定スル所ナカツタ。或者ハソレニ達スル道行トシテ先ヅアラユル職工組合ヲシテ地方的勞働會議ニ加盟セシムベキデアルト說キ、他ノ者ハ同種類ノ職業ニ從事スルモノ、組合ヲ結合スベシト主張シタ。最後ニ職工組合ト勞働黨トノ關係ヲ密接ナラシメル爲ニ勞働黨ノ選出スル候補者ハ少ナクトモ其十二箇月以前ヨリ職工組合員タルモノニ限ルベキコトガ要求セラレタ。職工組合ト勞働黨トノ關係ヲ密接ナラシメヤウトイフ決議ハ、坑夫ノ如キ勞働會議以外ニ立ツ急進的ナル職工組合員ニヨツテ、勞働黨ハ未ダ充分ニ社會主義的色彩ヲ帶ビテ居ナイ、ノミナラズ餘リニ中流階級ニ讓步シ

過ギルトイフ理由デ反對セラレタガ、採決ノ結果非常ナル多數ヲ以テ通過シタノデアアル。

「勞働者團體」ノ實現ニヨツテ職工組合ガ新ナル力ヲ得、其要求ヲ政治的手段ニ訴ヘテ貫徹シヤウトノ希望ニ光明ヲ認メテ此大會ハ終リヲ告ゲタノデアアル。

新西蘭ノ職業及勞働會議大會ハ職工組合政策ノ範圍ヲ越ユルコト之ヨリモ一層甚ダシイ。ウエリントンニ開カレタ千九百八年ノ大會ハ其會期ノ半バヲ仲裁裁判法ニ對スル政府ノ改正案及大會自身ノ提案ニ就テノ論議ニ費シタ。

而シテ其他ノ社會政策的性質ヲ帶ビタ商議問題ノ中ニハ、鑛業法規ニ關スル種々ノ改正案、業務災厄賠償法ノ改正、工業勞働者ニ對スル勞働時間ノ制限ヲ商業ニ從事スル者ニ及ボスコト、土曜日ノ半休竝ニ日曜日ノ全休ノ確定、警察ヲシテ勞働者保護法ノ實行ヲ監督セシメルコト、宣誓スル者ニ對シ解釋ヲ許スノ規定ヲ刑法ニ設

クルコト、國家支給ノ養老年金額ノ増加竝ニ其支給範圍ノ擴張、セドンノ遺シタル年金法案ノ實施、竝ニ勞働權ノ要求等ガアツタ。

最後ニ勞働者團體ノ創設ニ關シテ種々ノ議論ガ戰ハサレタ。之ハ新西蘭デモ古クヨリノ希望デアツタガ、尙ホ未ダ實現サレナカツタノデアアル。

新西蘭ノ職工組合ノ多數ハセドン及バルランストノ堅キ握手ヲ基礎トシテ依然自由黨トノ結托ヲ續ケ、實ニ今日デモ職工組合領袖ノ一人タルミラーハ勞働大臣ノ椅子ヲ占メテ居ルガ、ワードニ率キラル、自由黨ハ最早以前ノ如ク進歩的デハナイノデアアル。斯テ少數ノ職工組合ハ夙ニ社會主義的思想ニ傾イテ、千九百四年ノ大會ニ於テ社會主義的目的ヲ具エタル獨立ノ勞働黨ヲ建設スベキコトヲ主張シタ、之ハ其後新西蘭政治的勞働同盟 (New Zealand Political Labour League) トナツテ實現サレタ。千九百八年ノ總選

舉ニ際シテハ、ウエリントンノ多數ノ組合ハ母國ノ組合ニ倣ツテ勞働代表委員會(Labour Representatives Committee)ヲ形成シテ、社會主義的勞働運動ノ指導者タル波戶場人夫組合ノ書記マクラレンヲ選出シタ。クリストチャーチノ組合モ此時同様ノ企ヲナシタガ成功ヲ見ナカツタノデアル。併シ今尙ホ多數ノ新西蘭ノ組合ハ現政府ノ自由主義ニ歸服シテ居ルノデアル。

サテ全然政黨政策上ニ活動シタノハ、ウエスト、アウストラリアノ職工組合デアル。千九百七年カルグーリーニ開カレタ第七回職工組合大會ニ於テハ多數ノ組合カラ勞働黨ノ綱領變更ノ動議及其他二百有餘ノ提案が出ダサレタ。無數ノ無意味ナル決議ヲナシタ此大會ハ黨派の示威運動トシテノ外何等價值ノ無イモノデアツタガ、今ヤウエスト、アウストラリアニ於テ職工組合員ガ政爭上ニ一致團結スル「濠洲勞働者團體」ノ實現サレテ居ルノヲ見ルノデアル。(完結)

新刊紹介

法學博士 小林丑三郎著

殖民地財政論

三九〇頁 壹圓八拾錢
東京 有斐閣書房

本書ハ先ツ最初ニ、各國殖民政策ノ大要、殊ニ現代思潮ノ一タル國土擴張政策ノ大要ヲ紹介シ、次デ殖民地財政ノ根本主義ニ及ビ、之ニ準據シテ、更ニ國別ニ主要殖民地ノ財政制度ヲ論シタル上、順テ我殖民地ノ財政制度ヲ批評スルノ順路ニ向ヘリ。而シテ批評ノ論點トシテ、或ハ獨立財政ヨリ、或ハ集權財政ヨリ、或ハ自治財政等ヨリ、其ノ利害得失ヲ比較研究シ、結局、如何ナル殖民地ト雖モ、財政獨立ノ實質ヲ具備セザルモノハ、財政上自治ヲ要求スルノ資格ナシト斷ジ、ソレヨリ論歩ヲ進メテ、特別會計廢止論、貢納金論、國庫補助金論等、方今我國ニ於ケル殖民地財政上ノ諸問題ヲ捕ヘテ一々明快ナル論評ヲ下シ、其ノ外、殖民地財政上ニ於ケル諸種ノ財源ヲ詳論シ、尙ホ附録トシテ、佛領アルゼリーノ財政ニ關シ約五十頁ノ記述ヲナシ、又歐米殖民地統計、我殖民地統計、各約二十頁ヲ附シテ、參考ニ供セラレタリ。由來、我國ニハ此種ノ著書絶無ト稱ス可キ有様ナル折柄、多年臺灣ニアツテ親シク殖民地財政ノ局ニ當ラレタル著者ノ此著ヲ得タルハ、讀書界ノ幸福ト稱セザルヲ得ズ。